

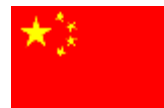
香芝市国際交流市民の会



グローバル香芝

The International Exchange Society, "Global Kashiba"

あの留学生は今…⑧ 中華人民共和国



今回は、2008年10月～2010年3月までの1年半、大阪教育大学に留学されていた中国の劉佳さんの近状報告をいたします。彼女は修了式の時、留学生の代表として日本での体験を含めた感想を、素晴らしい日本語と内容でスピーチされ感動しました。卒業後は、ドイツ系の会社に就職し頑張っておられます。

2008年10月から2010年3月まで大阪教育大学での留学生活はとても楽しい、忘れられない思い出です。こんなに長い間国を離れたことは初めてでしたが、こんなに住みやすい国で、たくさんやさしい人たちと出会って、一生の国際友達ができただけでいいと思わなかったのです。

あっというまに帰国してもう二年間になります。日本での留学生活はまた昨日のようにいきいき目の前に浮かんでいます。日本でいつもお世話になったグローバル香芝の方々や、一緒に楽しい生活を送った友達たちとも連絡をずっと取っています。しかも、上海では、旅行にいらした韓国の友達や日本の先生、そしてグローバル香芝の方とも会いました。皆さんとの付き合いや支えのおかげで、私は上海で精一杯頑張っています。



今はドイツ系の国際会社で営業サポートとして働いています。会社の中で日本語が話せる人が私一人しかいません。面白いことに、たまにヨーロッパ人は私が日本語ができると聞いて、よく「are you japanese or chinese」と私にききます。彼らの目から見れば、アジア人はどこか通じているところがあるのでしょう。日々の仕事は主に日系取引先に関する事に集中しています。もし、私はしごとの中で、中国人とドイツ人と日本人の架け橋になれるならそれでいいと思います。

一方、日本語学校ではバイトとして土曜日に、日本語先生をしています。クラスの中で、日系企業で働いてる人もいるし、日本文化や漫画や芸能界にすごく興味を持ってる人もいるし、将来日本へ留学に行こうとしてる大学生や高校生さえもいます。いろんな目的を持っている人たちはこのように、ひとつのクラスに集まって、勉強仲間になって、その中で、コースが終わってから、いい友達になる人もいます。私の日本体験も学生にとって興味深いことで、ちゃんと授業の間、仲良く交流し合っています。帰国してから、しばらく日本に行くチャンスがないけど、私の力で、日本や日本語に興味を持っている人に役に立てるなら、喜んでやり続けたいのです。

「明日またいい出会いを」という言葉が大好きです。将来どんな出会いがあるのかわからないけど、過去の素敵な出会いを力として、前向きに進んでいきましょう。 (劉佳)

◆香芝市在住外国人数 22ヶ国 469名

2012年7月1日現在

アメリカ:4、イギリス:1、インドネシア:4、オーストラリア:6、シンガポール:1、タイ:20、中国:122、朝鮮・韓国:250、ラトビア:1
ネパール:1、パキスタン:9、パラグアイ:1、バングラディッシュ:5、ブラジル:16、フィリピン:18、ベトナム:4、ペルー:1、ロシア:2
アフガニスタン:1、ミャンマー:1、キルギス:1

◆スウェーデン イェルフェラ市民楽団との国際交流イベント◆

2012年4月4日 スウェーデンの「イェルフェラ市民音楽団」を招き国際交流イベントを香芝市ふたかみ文化センターで開催しました。イベントは「餅つきによる当会員と市民楽団との交流」、「第46回国際理解セミナー：スウェーデン編」、イェルフェラ市民音楽団による「国際交流コンサート」と3段階に分けて行いました。

まず、餅つき大会は西真美自治会より道具一式と6人のサポートを得てスウェーデン人20名、会員18名、事務局1名の合計45名で市民ホールロビーで実施しました。スウェーデンの人にとっては初めての経験で大いに盛り上がりました。餅つき等につきましては後記に会員よりの感想文を頂きましたので披露します。



2番目に第46回国際理解セミナーを会議室にて行いました。参加者は市民52名、会員19名、事務局1名の72名と盛況でした。講師はスウェーデン大使館員のマリアン・ビールドさん、通訳はニッケルハルパ奏者の本



田倫子さんで「スウェーデンってどんな国？」「どんな文化？」をテーマに講演をしていただきました。肝っ玉かあさんの彼女は英語を基調に時々日本語も交えての魅力ある話し振りに参加者は魅了され、スウェーデンについての理解を深めました。

内容は「ニッケルハルパの歴史」「民族服の紹介」「高福祉・高負担で幸せを享受するスウェーデン国民」「共同社会でありながら個人の生活重視の市民」やご自身の日本との関わりなど約1時間余りの講演でした。最後には参加者からスウェーデンについての色々な質問がなされました。

3番目の国際交流コンサートはスウェーデンの伝統楽器「ニッケルハルパ」を主体のコンサートで当地の民謡ですが、何か癒されるような素晴らしい演奏で、日本人ダンサーも入り民族舞踊も披露されました。会場は7割の入りで皆さん熱心に聞き入っておられました。

日本の音楽「ふるさと」が演奏されると聴衆も歌って、大変盛り上がりました。



<スウェーデンとの国際交流に参加して>

「ペターン」、「ペターン」…すごい迫力。去る4月4日昼から、スウェーデンの伝統音楽奏者の方々をお迎えし、餅つきセレモニーが市民ホールのロビーで行われました。さすが、海賊の子孫！（失礼かな？）大きな体、すごい腕っぶり（でも顔は優しい）…臼がつぶれるんちゃうかーそんな感じで、まわりの掛け声、手拍子にもよく乗って、それはそれは子供がはしゃぐように嬉しそうでした。

さて、その後は、つきたてのお餅を食べる時間です。やはり「食べる」ことが一番なんですね…。きな粉、大根おろし、ぜんざい…ホントおいしかったです。

スウェーデンではほとんどの人が英語をしゃべると聞きました。それであちこちで会話がはずんでたんですね。しゃべれる人って…ウーン、いいなあとうらやましくなりました。（そういう私は小学校のとき、英会話の個人レッスンを受けた経験があるのに…すっかり頭から消えています）。グローバルの人ってそんな方が多いんですね、すみません、認識不足で。

伝統音楽のコンサートの後は、お酒なしの「打ち上げ交歓パーティー」が行われました。その中で私は、近くのスウェーデン人の女性に、通訳を通じて「ビートルズは好きですか？」と切り込んでもらったのです。すると「大好き」の意味の答えが返り、そのあといくつもの曲名が出てきました。いわゆる伝統音楽を愛しておられる人は結構ビートルズファンが多いと聞いているんです。「スウェーデンもそうかな？ ちがうかな？」と思って探検しました。発見でしたね、これは。ビートルズの4人は実はアイルランドの血を引いているんですね。そこに伝統が自然に生きています。美しいアイルランド民謡、そしてビートルズはきっとスウェーデンにも…そんな広がりを感じることができました。通訳の方は誰ですって？グローバルの方はお分かりですね。本当にありがとうございました。



パーティーは、雅楽の人も入り、お互いの感謝を表現する中で意義のある形で終わりました。

（鈴木）

◆国際料理教室◆



2月27日(土) 白鳳女子短大留学生のウインさん、ティンティンさんを講師に迎え、市民34名がミャンマー料理にチャレンジしました。はるさめスープ(チャザンヒンカー)、ジャガイモと鶏肉の煮物(チャッター&アルーヒン)、さつま揚げが入ったサラダ(アトゥ)、ヤシ砂糖入り団子にココナッツがけのデザート(モンローイエポー)、すべて美味しく出来上がりました。続いて、お二人からミャンマーの文化を紹介頂き、手をスプーン代わりに使った食べ方も講習して頂き、同じアジアの一員として交流を深めて行く大切さを感じた上、料理もルーツを探ると共通点がたくさん見つけられると感心させられた一日となりました。(小椋)

◆H24年度 会員懇親会◆

5月16日(水)、今年は趣向をかえて「飛鳥の宿・祝戸荘」で、例会の後、開催されました。参加者は15人と少なめでしたが、久しぶりの参加者もあり、裏山に上り祝戸荘特製の弁当に舌鼓を打ちながら和やかな昼食会を行いました。飛鳥のロマンを語りながら新緑の爽やかな天気の下、古の飛鳥を想像しながら楽しい一時を過ごしました。(平岩)



◆スポーツ交流会◆

5月26日(土) 白鳳女子短大にてグローバル香芝会員13名、留学生(白鳳短大16名、大阪教育大13名)で「スポーツ交流会」を行いました。当日は自己紹介ゲームなどの室内イベントから始まり、続く昼食交歓ですっかりうちとけて顔馴染みになったところでドッジボール。留学生も童心にかえってハッスルプレイの連続です。ドッジボールの後はビンゴゲーム。留学生達には会員からのささやかなプレゼントが用意されました。この行事を通して交流を深めた留学生たちが、これからのグローバル香芝の年間イベントに積極的に参加して充実した留学生生活を楽しんでくれることを期待しています。(近藤)



◆春季ホストファミリー交流会◆

6月9日(土) 留学生(白鳳女子短大と大阪教育大の留学生計16名)と受入家庭16家族が参加し、ホストファミリーマッチングが行われました。例年通り、ホストファミリーに留学生を紹介し、しばしコーヒーブレイクでみなさんすっかり打ち解けて、ジャンケンゲームでは緊張もほぐれて、学生さんの歓喜の声も上がりとても盛り上がりました。お子様もたくさん参加下さったせいか和やかな雰囲気の中、会話も弾みとても賑やかで笑顔いっぱいの交流会となりました。



今回は大学から先生も参加下さり「グローバル香芝のホストファミリープログラムはとても好評で留学生にとって、すごく良い経験になっていると思います。」というありがたいお言葉をいただきました。

このプログラムを今まで、いろんな苦勞を重ねながら続けてきた先輩会員と国際交流に賛同して下さったみなさんによるホスピタリティ精神の賜物だと思います。今後もみんなで協力し、向上心をもって活動に取り組んでいきたいです。(藪本)



メンバーひとりごと -42-

「阪本さんは、今年3月まで2年間、広報部長として活躍し、「あの留学生は今・・・」の記事の掲載を提案、英語が堪能で、国際交流に熱心な方です。若い感性と語学力、そして国際理解と、わがメンバーのホープです！」



“世界を色に例えると？”

阪本純子

昔、アラビア語を専攻していた友人が、あるリサーチを行いました。その内のひとつ、「イスラム圏を色で表すと何色か。」というアンケートに対し、イスラム圏に全く縁の無い方の回答は「黒」・「紫」のみ。一方で実際にイスラム圏出身の友人がいたり、その国々を訪れた事のある方は、「美しい空や海の青」、「女性がまとう色とりどりのヒジャブの色」、「モスクの美しい装飾の色」…等、多様な回答があったそうです。

2年前、初めてアフリカを訪れた皇太子様が、アフリカのイメージを「これまでのモノクロームの静止画像から、色鮮やかに躍動する動画として脳裏に鮮明に焼きついた。」という事をおっしゃっておられました。なんと簡潔で的確な表現なのでしょう。

私達が普段、テレビや雑誌で目にする外国は、それを製作した人や国の色眼鏡を通しての画像にしかすぎません。私の脳裏にある世界地図には、まだまだ、モノクロ部分が多く存在していますし、誤った色付けがされた部分もあると思います。国際交流を通して、今後、その地図を色鮮やかに塗っていきたいと思うと同時に、来日された外国の方が、日本に対して、一色でも多くの色を感じて頂けるよう、お手伝いする事ができればと思っています。

※次回は、田宮良嗣さんです

◆◆ “グローバル香芝” 入会のご案内 ◆◆

香芝市の国際交流に参加できる個人や団体で国際交流に興味をお持ちの方、私達と一緒に活動しませんか。語学力や国籍に関係なくどなたでも入会することができます。

〈会費〉 個人会員 年間 3,000円 / 賛助会員(団体) 年間 10,000円

〈月例会〉 10:00~12:00 香芝市中央公民館 8/21(火)、9/19(水)、10/16(火)、11/21(水)

◆ 申し込み・問い合わせ先

香芝市役所 市民協働課内事務局：坪内、福岡 (Tel:0745-76-2001 内線 173, Fax:0745-78-3830)

グローバル香芝：金藤 恭子 (Tel 0745-78-8574) または 神野 俊幸 (Tel 0745-78-1666)

e-mail: nijosan3231@global-kashiba.matrix.jp までお気軽にどうぞ！

◆ ホームページアドレス <http://global-kashiba.matrix.jp>

<編集後記>

- ・多くの国際交流事業や青少年育成事業が事業仕分けの対象に。残念！ (JS)
- ・先日、妻の入院先病院で、他の患者の血液検査データを間違っ採用され、危うく「膵臓炎の誤治療」を受けるところでした。クワバラ、クワバラ！ (YT)
- ・世界平和の中に何が出来るかですって！まずは家に帰って「家族を愛すること」から始めなさいとは、マザーテレサの言葉。本当にそう思います。 (ST)

- ・カナダ留学中の姪から「ダルビッシュの試合が観れた」は英語でどう言うの？と質問メールが。「球速かった？ かつこよかった？」と逆に質問責めしてしまいました。(NF)
- ・今期はガーナの青年を日本語支援しています。肌は黒いが愛嬌あり、人懐っこく愛すべき人間です。(AH)
- ・紫陽花の色の綺麗さ 競い合う 登山の楽しみ またひとつ (KK)

編集発行：グローバル香芝・広報部会

事務局：〒639-0292 香芝市本町 1397 香芝市役所 市民協働課内

Tel : 0745-76-2001(内線 173) Fax: 0745-78-3830